

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院 初期もの忘れ外来に通院歴のある患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院初期もの忘れ外来では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

初期もの忘れ外来受診患者におけるサルコペニアと認知機能の関係

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院 リハビリテーション科 主任部長

初期もの忘れ外来 担当医 樺 篤

3. 研究の目的

高齢の方でも運動習慣があり筋力や歩行能力を含めた身体機能を維持して筋肉量が低下していなければ認知機能も低下しにくい、認知症になりにくい、との報告があります。初期もの忘れ外来受診患者さんの認知症診断に際して行わせて頂いた身体運動能力評価の結果、体組成分析結果、言語・嚥下機能検査結果、画像検査結果と認知機能検査結果の関係を検討し認知症の治療に結びつくような運動を含めた生活指導を行えるような研究にしたいと思えます。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

かかりつけ医より当院を紹介され、2017年6月～2022年3月の間に初期もの忘れ外来を受診され医師の診察を受け、リハビリテーション療法士による運動機能、体組成分析、神経心理検査、言語・嚥下機能検査、そして放射線科で画像検査を受けられた方。

(2) 利用させて頂く情報

基本属性：性別、年齢、身長、体重、家族構成

問診票：基本チェックリスト (KCL-25)

運動機能：握力、10m歩行時間、3mTimed up Go test (3mTUG)、下肢筋力

言語嚥下機能：オーラルフレイルチェックリスト、舌圧、反復空嚥下検査 (RSST)、パタカ発声回数

体組成分析：体脂肪量、筋肉量

神経心理検査：HDS-R、MMSE、MoCA-J、FAB、GDS-15

画像検査：MR、脳血流シンチグラフィ

(3) 方法

電子カルテから上記の調査項目を抽出します。身体・運動機能検査と体組成分析結果からサルコペニアと診断された方とそうでない方の認知機能検査結果、画像検査結果を比較検討します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曾部町 1-3-13

社会医療法人 愛仁会 高槻病院リハビリテーション科 医師 樺 篤

TEL : 072-681-3801 FAX : 072-682-3834

E-mail : keyaki.atsushi@aijinkai-group.com